

こんにちは

日本共産党杉並区議会議員

酒井まさえ



2021年4月22日 No.88 連絡先 日本共産党杉並区議団控室 3312-2111
090-9325-5676 sakaimasae.0507@gmail.com

杉並区ゆかいの作家や芸術家の記録・作品について

展示を拡充し、観覧の取り組みの強化を！



▲区立郷土博物館本館（大宮1丁目）

予算特別委員会等で、党区議団は社会教育活動の充実について質疑しました。

杉並区は他区に比べ 展示機能が不十分・

杉並区には、ゆかひのある作家・芸術家が多いですが、記録や作品を展示する施設は、区立郷土博物館本館と分館しかありません。

近隣区では、博物館的な施設の他に、文学館、美術館など複数展開している区も多く、たとえば新宿区は、歴史博物館のほか4つの

記念館を持っています。**観覧の機会を広げること**は重要と区も認める

党区議団は、日本を代表し、文学史や美術史に記録されているような作家・芸術家に関する記録・作品は、貴重な文化資源であり、観覧の機会を広げることが、社会教育活動においても、杉並区の魅力を広めるうえでも重要課題ではないかと、区の認識を質しました。

区も、その重要性を認めました。

充実に向け3つの提案

そのうえで、現状をベースに、観覧の機会を広げるための3つの提案を行いました。

① 郷土博物館分館について、天沼弁天池公園内に彫刻を移設し、展示スペースを拡大。名称も「分館」ではなく工夫する。

② 区立施設、学校、公園等に分散する画家や彫刻家の作品を、誰もが見られるよう工夫を。区ホームページで『杉並美術散歩』など地図にして紹介。

③ 芸術家の生家やアトリエ等の所在地に案内プレートを整備、その箇所のマップを作成。

区は、郷土博物館分館は、公園施設の一部として位置付けられているため、公園機能との関係で様々な制約がある、案内プレート等の表示は、遺族も住んでいる場合は難しい、と答弁しました。

文化振興条例の制定

今回の質問にあたり、他区の状況を調査すると、杉並区以外の区では、文化芸術振興のための計画や条例を持っていることが分かりました。

杉並区としても、文化都市にふさわしく、計画や条例を持って社会教育の拡充に取り組むべきと求めました。

杉並区にゆかひのある

- ・作家では、井伏鱒二、太宰治、有吉佐和子
- ・歌人では与謝野晶子
- ・画家では奥村土牛、中川一政
- ・彫刻家では佐藤忠良
- ・版画家では棟方志功など。

施設再編整備計画・児童館は今？

西荻北・善福寺児童館の廃止計画はストップを！

突然の廃止計画発表 住民説明会は大紛糾に

昨年未、杉並区は西荻北児童館・善福寺児童館を廃止する方針を発表しました。

両児童館の廃止方針は、区立施設再編整備計画にも位置付けられておらず、突然の発表に、児童や保護者、関係住民は大きな衝撃を受け、年末に行われた住民説明会では、計画見直しを求める声が相次ぎ、大紛糾しました。

「概ね住民の理解を得ている」と区長が発言

党区議団は第1回定例会で、住民合意もなく計画を進めるべきではない、と区長に迫りました。

区長は驚くべきことに「概ね住民の合意を得ている」と答弁。住民説明会の実態を無視する姿勢を示しました。議会に対して、事実と異なる答弁を行うことは重大な問題です。

「在り方検討」の最中、 子どもたちの意見も聞かず

現在、区では、児童館・学童クラブ等の在り方検討を行っている最中であり、検討結果が出される

前から、両児童館の廃止・機能移転を進めることは道理がなく、最も影響を受ける子どもたちの意見を聞いていないことも大問題です。

廃止見直しを求める陳情 署名500筆以上提出

議会には、善福寺児童館廃止・機能移転計画の見直しを求める陳情が500筆以上の署名をそえて提出されました。

区は、住民の声を受け止め、児童館廃止計画は中止すべきです。

コロナ問題・都区政報告会



新型コロナの感染拡大がおさまりません。ワクチンは？
医療現場は？医療関係者からもお話をうかがいます。

- 5月8日（土）北部地域
午前10時～12時松ノ木2丁目第3アパート集会室
- 5月8日（土）南部地域
午後1時15分～2時45分永福和泉区民センター
第5集会室
(連絡先 酒井 090-9325-5676)

健康の話 新型コロナウイルスワクチンについて

「ワクチン」は免疫のしくみを利用しています。感染症にかかるると体の中で抗体が作られ、新たに外から侵入する病原体（ウイルス）を攻撃します。そのしくみを「免疫」といいます。

前もって、ワクチンを接種してウイルスに対する免疫を作り、感染症にかかりにくくします。

新型コロナウイルスワクチンの発症予防効果は、約95%と報告されています。

副反応については

- ① 接種部の痛み（翌日に痛みを感じることも多い）
疲労、頭痛 ② 筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、
発熱、接種部の腫れ ③ 吐き気、嘔吐

このような副反応が出ても数日以内に回復します。接種後、アナフィラキシー（アレルギー反応）などが起こる可能性もありますので、接種後15分以上は様子を見ます。適切な医療体制も取りまします。

ワクチン接種の流れ（区のホームページより）

- ① 区から「クーポン券（接種券）」と「予約票」などが送られます。（75歳以上の方・4月23日発送）
- ② ワクチンを受ける医療機関や接種会場を選びます。（接種を受けられる場所のお知らせあり）
- ③ 予約サイト（インターネット）または、杉並区のコロナワクチン接種コールセンター（電話）で予約をします。
- ④ 当日は、クーポン券、必要事項を記入した予約票、本人確認書類（運転免許、健康保険証、など）を持参してください。

お困りのことがありましたら、
酒井にご相談ください。